新刊書籍発売のご案内

都市大阪の戦後史

復興・再生・発展

橋爪紳也 著

戦時下から戦後復興期、70年大阪万博に象徴される高度経済成長期、

戦後の大阪は、各時代に生じた課題とどう向き合ってきたのか。

「都市計画」「産業復興」「交通網の整備」「建築・建設」の視点から、一次史料、関係者の回顧談などを駆使し、都市再生の物語を再構成する！

序　章　戦災と焼失
第1章　復興へ向けた都市計画
第2章　生活空間の再興
第3章　産業の再生
第4章　都市基盤の拡充1 ―高速道路
第5章　都市基盤の拡充2 ―鉄道、航空
第6章　万博の大阪
終　章　万博と万博のあいだ

「大阪・関西万博」が開催される2025年は「昭和100年」であり、大阪にあっては、都市計画を実施して市域を拡張、いわゆる東洋最大の商工都市として繁栄をみた「大大阪」が成立して100周年の節目でもある。

ただ、「大大阪」の時代から、戦時下、占領下を経て、高度経済成長期に至るまで、近代都市としての道程は平坦ではなかった。各時代に生じた都市課題に関して、さまざまな計画や事業が練られ、今日の都市の発展に繋がっている。なかでも戦後復興期から高度経済成長期に関しては、都市計画やまちづくりの領域にあって、学術研究の蓄積が今後、さらに望まれるが、この時代を対象とする一般向けの平易な通史は少ない。

そこで本書は、とくに戦後復興期から高度経済成長期にフォーカスをあてて、都市が復興し、再生し、発展をなす経緯を、都市計画や地域計画の視点から検証し、一般向けの読み物として編んだものである。

――「はじめに」より

- 定価：本体2,640円（本体2,400円+10%）
- 四六判　並製　304頁

山川出版社
〒101-0047　東京都千代田区内神田 1-13-13
電話 03-3293-8131　　https://www.yamakawa.co.jp/